KSKR　No.74 号　通巻 6432 号　2014 年 9 月 21 日発行

KSKR パンジーだより

一九九六年五月一日　第三種郵便物認可　毎月（一・二・三・四・五・六・七・八の日）発行

いのちを預かる

もう二〇年も前になるが、スーパーバイザーをお願いしていた中新井先生に「グループホームを運営するということは、いのちを預かることですよ」と言われたのを、最近、折にふれて思い出す。

精神病院を転々とした後、一〇数年前にパンジーのグループホームで暮らし始めたMさんは、ここ二～三年、何度も肺炎を繰り返した後、在宅医療や訪問看護を受けながら、日中はパンジーに通っている。入所施設から5年前に地域移行したTさんは、去年胃がんの手術をしたが再発した。そして、私たちは、Tさんの残された時間を、ご家族の協力を得ながら、可能な限りグループホームで過ごしてもらう事に決めた。

もちろん、決めたものの迷いやためらいはたくさんあるし、これからも予期せぬ出来事に思わず立ち止まってしまうこともあるだろう。しかし、協力し合いながら、Tさんの日々を生きる努力に寄り添いたいと思う。そして、このプロセスがいのちを預かることの重みだと思う。

私は、このプロセスを通して、ノウハウではなく「心」を次の世代に伝えたい。

（林　淑美）

KSKR パンジーだより　No.74　第三種郵便物認可　通巻第 6432 号　2014 年 9 月 21 日発行

♪JAZZ＆ふわふわ in パンジーまつり

５月２５日に２１回目のパンジーまつりをしました。遊びに来ていただいた方、ありがとうございました。

今回パンジーと、パンジーⅡ＆Ⅲではテーマを分けて行いました。パンジーのテーマはJAZZ♪。パンジーⅡはいろんな経験をすることがテーマになりました。

パンジーの、ジャズバンドは、新喜多中学校吹奏楽を皮切りに、近畿郵政楽団、河内トロピカルサマーセッションバンド、ビーハイブの演奏を楽しみました。

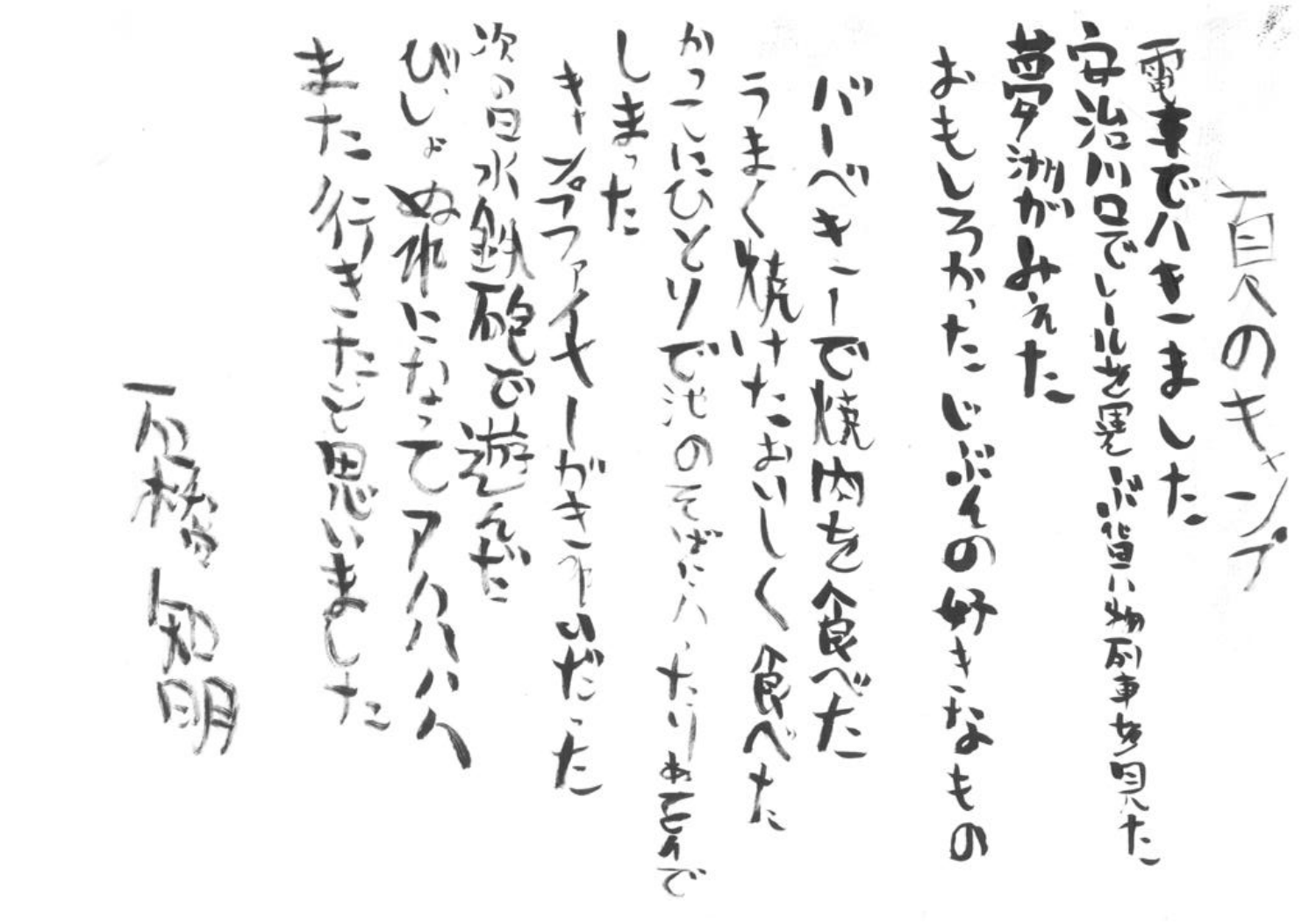
パンジーⅡでは、盾津東中学校の吹奏楽部、地元の美容室「HAIR MODE a.shu 」のヘアセット体験、移動動物園、バルーンアート、マジックなどなど様々なものを楽しみました。

さて、私、パンジーまつり担当を何度も体験しております。今回のお祭りに「ふわふわ」を何とかできないものだろうか、と思い続けてきました。今回、初めて「ふわふわ」できて感無量！です。

「ふわふわ」でかくてとてもめだちます。さらにお客さん発信の LINE、Twitter の効果もあり、たくさんの人たちが遊びに来てくれました。

パンジーまつりはこれからもみなさまへの日頃の感謝をこめて続けていきます。「毎年パンジーはこんなことをやってくれるんだ」と地域の人たちに喜んでもらえるよう張り切って行きます。今後ともよろしくお願いします。

シリーズ　パンジーの芸術家たち



百人のキャンプ

電車でハキーました
安治川口でレールを異ぶ皆ハ物所事を見た
夢洲がみえた
おもしろかったじぶんの好きなもの

バーベキューで焼肉を食べた
うまく焼けたおいしく食べた
かってにひとりで池のそばにハったりあそんで
しまった
キャンプファイヤーがきれいだった
次の日水鉄砲で遊んだ
びしょぬれになってアハハハ
また行きたいと思いました

一原橋知明

筆と、詩と・・・・・・・・・・

KSKR パンジーだより　No.74　第三種郵便物認可　通巻第 6432 号　2014 年 9 月 21 日発行

ピープルファーストだより

「当事者は、虐待されて何も言えなかった」

２０１３年１１月に千葉県社会福祉事業団の入所施設で、１９歳の男性が施設職員に虐待され亡くなる事件がありました。

その後の調査で、５人の職員が死亡した利用者に対し、それぞれ虐待していたことが分かり、さらにその５人の職員は亡くなった利用者とは別に９名の利用者にも虐待を行い、この１０年間では１６人の職員が２３人の当事者に虐待をしていたことが分かりました。

１２月１４日、ピープルファーストジャパン代表の佐々木さんが現地に行き、抗議文を提出しました。そして２０１４年５月２６日には、全国からピープルファーストのメンバーが集まり、抗議行動を行いました。パンジーからは当事者６人、支援者５人が参加しました。

千葉県の障害福祉課の課長、健康福祉部の副参事の２人が対応しました。全国の当事者から、厳しい抗議の声があがりました。「当事者は虐待されても何も言えなかった」「なぜ早く病院に連れてかなかったのか。なぜ丸１日も放っておいたのか」。パンジーの河野さんや岡本さんは、「入所施設があるから事件は起きる。地域で暮らせるようにして」と気持ちを伝えていました。千葉県として、地元のグループホームで暮らせるように努力したいとのことでしたが、ピープルファーストでは、今後も抗議行動を続けていきます。

この事件の内容を初めて聞いた時は、なぜこのようなひどい事件はなくならないのかという気持ちと、信じられない気持ちでいっぱいになりました。少しでも亡くなった男性のことを考えれば、こんなことにはならなかったと思います。相手の気持ちを考える。人権を尊重する。どちらも当たり前のことかもしれませんが、支援をしていく中で薄れていってしまう、そんな事にならないように私はその当たり前の事を大事にしていきたいと思いました。　（川田）

ハイサ～イ　おきなわ！

第 20 回ピープルファースト大会 in 沖縄

日　時：2014 年 11 月 1 日（土）～2日（日）
場　所：那覇市　自治会館
大会参加費：3,500 円　交流会参加費：6,000 円

みんなで沖縄大会を　もりあげよう！

各場だより

「志あるところに道あり」

パンジー

昔の人は、やる気が湧いてくる魔法の言葉を作り出すのが上手だったのだと思います。

4月からパンジーに通所を始めたOさんは、まさに志あふれる若きホープ。営業活動や販売など、どんなことでも“まずやってみる！”というスタンスで、日々ちから強いチャレンジを重ねています。

また、昨年までクリエイティブのメンバーだったIさんは、今年度、2週間の実習を経てパン屋さんで働く道を選びました。これまでとは勝手の違う仕事に苦戦する事はあるものの、諦めず食パン成形に挑んでいく姿は、同じパン屋のベテランメンバーからも感心と応援の声があがっています。

新しい事にチャレンジする時に大切な事は、自分にできるかどうかを考えるのではなく、やる気が湧いているか？　という事なのだと思います。やってみようという少しの勇気と、そして少しの支えがあれば何でもできるのだと当事者が実感できる事だと思います。そこにまた支援者もどう志を持って立ち会うかにより、ひとりひとりの可能性が“できる！”という真実になるのだと思います。

志あるところに道あり。やる気が湧いてくる魔法の言葉を信じて、パンジーは今日もそこに開かれた道を歩いて行きたいと思います。

（北田）

Kさんと出会って4ヶ月

パンジーII

私は4月からパンジーIIで働き始めました。私が最初に気になったのはKさんでした。Kさんはいつも決まった席に職員と2人で座っています。私はなぜその席にいつも座っているのかが気になりました。

職員に聞くと、Kさんが座っている席は、誰が来たかがよく見える席とのことでした。そして隣には、Kさんが安心できる職員が座ります。

4月、私はKさんと目が合うこともありませんでした。しかし、6月に入った頃、Kさんが、何か私に問いかけて来たのです。何を聞かれているかわからず、あたふたしていると、先輩職員が「今日の夜勤介護者は誰かを聞いています」と教えてくれました。そこでKさんの問いかけに答えると、Kさんは納得されました。その日を境に、Kさんは私に確認の問いかけをするようになりました。私はKさんとどのように関わればよいのか手探りの状態だったので、Kさんの問いかけにしっかり答えようと目標を決めました。

それから1カ月が経ち、7月になりました。いつものようにKさんに答えていると、Kさんが私の手を引っ張り、いつも座っている席に案内されました。私がびっくりしていると、Kさんはいつものように夜勤介護者は誰か問いかけてきました。私が答えると、Kさんは声を出して笑いました。

4ヶ月が経った今、Kさんは私の顔を見ると「今日の夜勤は誰？」と声をかけてきます。答えると笑顔を見せてくれます。また、Kさんの隣の席に座り一緒に過ごす事ができるようになりました。少しずつKさんとの距離が縮まってきているように感じます。これからも、Kさんと信頼関係を築いていけるように、日々の関わりを大切にしていきたいです。

（二本柳）

当事者とゆく道

パンジーⅢ

パンジーⅢに勤めて４ヶ月ですが、始めはとまどいや不安でいっぱいでした。なにせ福祉関係の仕事をしたことがありません。でも当事者のみなさん、本当に楽しく、優しく、力強い方ばかりです。「ひとつひとつ覚えていけばいいよ」「大丈夫や」そんな声をかけてくれる人。野球の話、テレビの話、ファッションの話、いろんなことを話してくれる人。仕事もしっかり取り組みます。厨房から汗だくで出てきた顔は、みなさんとても輝いています。

そんなみなさんとは、一緒に車で納品に行くことも。大阪の道を知らないのでとても不安でしたが、みなさんよく知っていて道案内も簡単です。と思いきや、ある日納品の帰りに「この道や」と教えてくれた道が間違っていて、すごく遠回りしてしまったこともありました。その日は待っていたみんなにいじられたのは言うまでもありませんね。車に乗っていたメンバーでもう一度道を確認し直し、後日きちんと帰ることができた時はみんな笑顔だったのが印象的です。（ただし、自分だけはしばらくいじられ続けました）

今では、すっかり不安は少なくなり、楽しく仕事をさせてもらっています。同時に、当事者のみなさんと一緒に、失敗や成功を経験し、成長していきたいと思います。（里中）

つながりを作ってる

ハート

ハートでは、昨年度から西消防署の清掃を請け負っています。他の４つの作業所と共同で行っています。

西消防署に毎回、参加されているＳさん。ハートで何年もマンション清掃や施設清掃を行ってきた清掃のベテランです。そして、何より人との交流が大好きな方です。

西消防署での清掃も１年がたち、職員さんにも顔を知られるようになってきました。ある日、いつものように清掃を行っていると、廊下から笑い声が。見ると、Ｓさんが消防署の職員さんと談笑していました。「どっから来ているの？」とＳさん。「しっかり手動かしや」と職員さんに突っ込まれたりして、まるで漫才みたいです。

また、ハートでは、ボランティアに来てくれる方たちと、プチ茶話会を開いて交流しています。Ｓさんは茶話会の様子を壁新聞にして張り出しています。今は茶話会で披露する演劇を熱心に練習中。いろんな人と、どんどんつながりを作っていくＳさん。これからどんなアイデアで交流をしていくのか、楽しみにしている僕がいるのでした。（池口）

木イチゴジュース

きっず

７月上旬、パンジーⅡの畑には、木イチゴがたくさん実っていました。それを見つけたＹちゃん。スタッフと一緒に容器にいっぱいになるくらい収穫しました。どうやったらおいしく食べられるか相談していると「ムーミンに木イチゴジュー

スが出てきてた。どんな味なのかなって思った」とYちゃんが一言。「じゃあ、作ってみよう」ということで、次の時にレシピと道具をそろえて木イチゴジュース作りに挑戦することになりました。

次の時、Yちゃんとクッキングスタート。まずは木イチゴをお鍋で煮込みます。レシピには「木べらでかき混ぜる」とありますが、木べらを用意し忘れました。「割り箸でいいか」と割り箸でかき混ぜます。次に煮込んだものを絞るのですが、用意していたものでは上手く絞れません。「キレイな布巾を使えばいいよね」と布巾で包んで絞ります。「あっ、牛乳忘れた！」

（そのままでは飲みにくいので牛乳で割る予定）と急いでコンビニへ・・・。

木イチゴジュースが完成したのは、作り始めてから1時間半後。おやつの時間をとっくに過ぎてしまっていました。それでもYちゃんは最後までジュース作りに取り組みました。完成したジュースをYちゃんは「ヨーグルトみた～い」と言いながら満足そうに飲み干しました。

今回実は牛乳はわざと用意せずにいました。スタッフが準備万端にしておき、少しのつまずきもないように取り組めることも大切ですが、予測していなかったことが起こったときにどう対応するかということを一緒に経験することも大切だと考えています。・・・今回はわざと用意しなくても、ハプニングがたくさん起こりましたが。

もうすぐ夏休み。ちょっとしたハプニングも楽しみつつ、一緒にいろんな経験をたくさんしていきたいと思っています。

（油井）

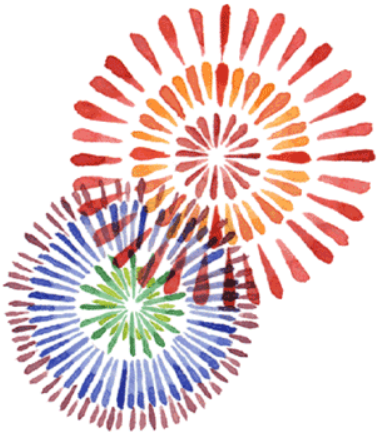
自分の居場所 わくわく

相談支援の担当になって8年になる。8年前から関わっているAさんという人がいる。彼はいわゆる「触法障害者」だ。窃盗などの軽微な罪を繰り返し、矯正施設と地域を行き来している。そんな彼の魅力は、関わる支援者が、彼に関わりたくてしょうがなくさせるところだ。犯した罪は償わなければならない。でも、彼に関わった人は、彼のこれまでの境遇が生きにくさを作り出したことを知っている。時には理不尽なことで振り回されながらも、「しょうがないな」と彼の話を聞いてしまう。彼の周りには、そんな支援者がたくさんいる。

だけど、彼はそのことには気づかず、自暴自棄になることがよくある。自らつかんだ働く場も簡単に手放してしまう。そんな時に「自分の居場所はどこにもない」「なぜ探してくれなかったのか」と彼は訴えてくる。様々な思いのなかで、結局は定着支援が出来なかった自らの無力さを噛みしめるしかなかった。

そんな彼が今の職場で働き続けて、もう1年になる。1年も続いたことは、ない。以前はとても嫌がっていたグループホームの話も、彼からさらりと「誘われているんだ」と相談され、驚いてしまった。

個人的な話になるが、先日、新潟・長岡で花火大会を見てきた。目玉である中越地震からの復興を祈願した「フェニックス」という素晴らしい花火を前に、東北で出会った人たちを思い返しながら、彼のことも考えた。何度も挫折を繰り返しながらも、やっと彼は自分の居場所を見つけたのではないか。何度でもやり直せる。そう思えてきた。（福岡）



書き損じハガキ、（未使用）切手を送ってください！

ご家庭や会社などで書き損じのハガキ、スタンプを押していない切手など眠っていませんか？
当事者活動部門ではこれらを集めて活動資金にあてています。ご協力お願いします。

☆次の方々からいただきました。ありがとうございました。（敬称略）

宮田程子、山内英樹、野山高徳

パンジーでは、後援会員を募集しています。

賛助会員　１口　１か月　５００円　　本会員　１口　１か月　１,０００円
特別会員　１口　１か月　３,０００円　郵便振替番号 00950-1-300551　ｸﾘｴｲﾃｨﾌﾞﾊｳｽ「パンジー」

創思苑の新しいホームページを公開しています。
楽しい写真がたくさん。
そして、創思苑の活動がよくわかります！
ぜひ、一度いらしてください。

http://soshien.com/

2015 パンジーまつりに向けて、募集中だよ！

日　時：2015 年５月 23 日（土曜日）
場　所：クリエイティブハウスパンジー・パンジーⅡ
募　集：①ジャズバンド・ブラスバンド演奏者
②フリーマーケットの出店者
③何かしたいっていう人
お問い合わせ：パンジーまでお電話かメールを下さい。
電話　072-963-8818　（担当：吉竹）
メール info-pansy@pansy-net.or.jp

編集人
東大阪市東鴻池町 2－4－8
ｸﾘｴｲﾃｨﾌﾞﾊｳｽ　「パンジー」
TEL:072-963-8818　FAX:072-963-8825
発行人
関西障害者定期刊行物協会
大阪市天王寺区真田山町 2-2 東興ビル４階

編集後記

横浜の同愛会の高山さん、奈良のひまわりの家の渡辺さん・喜多さん、大阪の創思苑の林さんたちの集まりに、ごいっしょさせてもらうことがありました。思想のある言葉、実践してきた人たちの言葉の凄味に圧倒されながらも、刺激的な魅惑の時間を過ごしました。

で、なんで、この濃いメンバーが集まったか？　というと・・・もう字数がないので、次号につづく。（吉）

一九九六年五月一日　第三種郵便物認可　毎月（一・二・三・四・五・六・七・八の日）発行　定価　一〇〇円